

事業番号 2022 - 総務 - 21 - 0065

令和4年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名	防災・減災のためのリモートセンシング技術による高精度データの収集・分析・配信技術の開発及び基盤の整備			担当部局	国際戦略局		作成責任者		
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	令和6年度	担当課室	技術政策課研究推進室		室長 武馬 慎		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国立研究開発法人情報通信研究機構法第14条第1項第1号 総務省設置法第4条第1項第70号			関係する計画、通知等	「統合イノベーション戦略2021」(令和3年6月18日閣議決定) 「気候変動適応計画」(令和3年10月22日閣議決定) 「AI戦略2021 ～人・産業・地域・政府全てにAI～」(令和3年6月11日統合イノベーション戦略推進会議決定) 「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」(令和3年11月19日閣議決定)				
主要政策・施策	科学技術・イノベーション、国土強靱化施策			主要経費	文教及び科学振興				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	豪雨災害等について、発災及びその予兆をいち早く観測・分析するため、高精度な雨量等の情報を短時間で精密に観測し、発災時における伝送容量に制約がある場合においても観測データを適切かつリアルタイムに伝送する可能とする技術を確立し、我が国における豪雨災害の災害被害を低減することを目指す。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ゲリラ豪雨等による水災害被害を最小限にするため、国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)が有する老朽化した三次元降雨観測用気象レーダー(PAWR)を雨滴の高精度観測が可能なレーダー(MP-PAWR)へ更改を行うとともに、その膨大な観測データをリアルタイム伝送するための研究開発を実施する。(令和3年度補正予算のうち、3,000百万円が情報通信技術研究開発推進事業費補助金に該当。補助率100%。)								
実施方法	委託・請負、補助								
予算額・執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	1,300		
		補正予算	-	-	4,394	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	4,394	0		
		翌年度へ繰越し	-	-	▲ 4,394	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		0	0	0	4,394	1,300		
	執行額		0	0	0				
	執行率(%)		-	-	-				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		-	-	-					
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由				
	情報通信技術研究開発推進委託費		-	1,295	重要政策推進枠 1,300				
	情報通信技術研究開発推進業務庁費		-	4					
	情報通信技術研究開発推進業務旅費		-	0.4					
	計		-	1,300					
活動内容 (アクティビティ)	国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)において、ゲリラ豪雨等の水災害被害の低減に資する研究開発・実証の加速化に向け、老朽化した三次元降雨観測用気象レーダー(PAWR)を雨滴の高精度観測が可能なレーダー(MP-PAWR)へ更改を行うとともに、その膨大な観測データをリアルタイム伝送するための研究開発を実施する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	基本計画書に記載された研究目標を達成する	技術課題数	活動実績	件	-	-	0	-	-
			当初見込み	件	-	-	2	2	2
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額/技術課題数	単位当たりコスト	百万円	-	-	697	697		
		計算式	百万円/月	-	-	1394/2	1394/2		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	「国の研究開発評価に関する大綱的指針」(平成28年12月21日内閣総理大臣決定) 「総務省情報通信研究評価実施指針(第5版)」								

活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	防災減災に資する高精度三次元雨量観測が可能な気象レーダー(MP-PAWR)の稼働	MP-PAWRの稼働月数		活動実績 当初見込み	件	-	-	0	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額/稼働月数		単位当たりコスト 計算式	百万円/件	-	-	-	-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	論文掲載	論文掲載数		活動実績 当初見込み	件	-	-	0	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額/論文掲載数		単位当たりコスト 計算式	百万円/件	-	-	-	-	
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込	
	研究発表・報道発表	研究発表・報道発表数		活動実績 当初見込み	件	-	-	0	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額/研究発表・報道発表数		単位当たりコスト 計算式	百万円/件	-	-	697	697	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 年度	目標最終年度 11年度	
	研究開発終了5年後(令和11年度)までに、開発した圧縮・復元技術を活用したデータ提供システムの導入を2件以上行う。	研究開発終了5年後(令和11年度)までの導入数		成果実績	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	2
				達成度	%	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	リモートセンシング技術のユーザー最適型データ提供に関する要素技術の研究開発基本計画書 (研究開発終了後の成果展開状況については、「国の研究開発評価に関する大綱的指針」等に基づき追跡調査・評価を実施し、公開予定)								
政策評価、 新経済・ 財政再生 計画との 関係	政策評価	政策	V. 情報通信(ICT政策)						
		施策	政策評価書 URL	https://www.soumu.go.jp/main_content/000766417.pdf					
	取組事項	分野:	-						
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-						
	該当箇所	-							

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本施策により整備する雨滴の高精度三次元観測が可能な気象レーダー(MP-PAWR)は、時間的・空間的に分解能が高く、防災・減災の高度化への活用が期待されている。また、本施策の研究開発による仕組みを導入することによって、伝送容量に応じた適切なデータ伝送が可能となり、平時のみならず災害時等の伝送容量に制約がある場合であっても、公的機関や民間企業へリモートセンシングデータの提供が中断無く行える。公的機関等がリアルタイムにデータを入手出来ることにより、住民への避難情報を早期に発出できるなど国民への安全・安心の確保に寄与することから国民のニーズに応えるものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本施策は国民の安全・安心の確保に向けて国が中心となって取り組むべきことであり、また雨量等のデータ伝送に関する研究開発の取組は、地方公共団体や民間企業が研究開発を行うにはリスクが大きく困難であり、国が主体となって実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本施策は、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」(「デジタル社会の実現に向けた重点計画」(令和4年6月7日閣議決定)及び「統合イノベーション戦略2022」(令和4年6月3日閣議決定)等において重点的に国が実施すべき事業として明示されている。よって本施策は政策目的の達成手段として必要な事業であり、政策体系の中で優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、 一者応札又は一者応募となったものはないか。 </div>		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	-
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	-
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	基盤整備に当たっては、調達する機材が特別仕様であることから入手に長期を要し、また半導体不足の影響から納入までに時間を要することが判明したため、当初の期間では高精度レーダーの整備が完了しないことから、翌年度に繰り越す必要があった。 研究開発の委託に当たっては、外部有識者からの評価を踏まえた実施内容に関する調整等により、事業全体の遅延及びスケジュール等の見直しが必要となったことから翌年度に繰り越す必要があった。	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-

点検・改善結果	点検結果	-
	改善の方向性	-

外部有識者の所見

- ・令和3年度で補正予算を要求しながら、同年度のアウトプットの当初見込みがゼロという理由がわからない。アウトプットの見込みなくして、なぜ補正予算を要求したのか、具体的な説明の記載が必要である。
- ・令和11年度時に当該事業の成果をどのような検証し公表するのか、あらかじめ本レビューシートにおいて記載しておく必要がある。
- ・資金の流れについて、他のレビューシート同様、細かく記載する必要がある。

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の一部改善の	更なる経費の効率化を図り、適正な予算執行に努めること。
------------	-----------------------------

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り	<ul style="list-style-type: none"> ・繰越し後の時点において、令和3年度のアウトプット見込みを0とした上で、令和4年度の目標とする形で記載しておりましたが、御指摘を踏まえ、令和3年度時点のアウトプット見込みについても記載いたしました。 ・総務省では、実施している研究開発事業について、「国の研究開発評価における大綱的指針」等に基づき、事業終了後も、その成果の社会実装等に係る状況について評価・検証を行い、その評価結果を公表しています。本事業においても、同スキームに基づき、評価・検証結果を公表する予定でありますので、その旨記載いたしました。 ・本事業のうち高精度観測が可能なレーダー(MP-PAWR)への更改については、令和3年度補正予算による措置後、令和3年度内に総務省より国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)に対し補助金に係る交付決定(総務省→A)を行いました。NICTにおける年度内の執行実績(A→B)がありませんでしたので、それ以降の資金の流れについて記載しておりません。 ・引き続き経費の効率化・適正な予算執行に努めてまいります。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

令和3年度	2021	総務	新21	0004		
-------	------	----	-----	------	--	--

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

